



今回の
アイデア

おもちゃが壊れた!と思う前に

ちょっとした工夫で、目からウロコ。暮らしが便利になったり、楽しかったり、エコにつながったり。そんな暮らしにまつわるさまざまなアイデアをお届けします。今回は、境南町在住の田中良明さんに、電池で動くおもちゃの寿命を伸ばすアイデアを伺いました。

乾電池の使い方、おもちゃの寿命が変わる!

① 電動のおもちゃにはアルカリ電池を

マンガン乾電池はアルカリ乾電池より大きな電流を取り出せますが、モーターやIC回路に負荷がかかる場合があるので使用しない。

② 使用後は必ずスイッチを切る

乾電池の液漏れの原因はスイッチの切り忘れ。液漏れはおもちゃの大敵です。1カ月以上使用しないときは、電池を取り出しましょう。

③ 電池の交換は全部同時に

交換の際は、同じメーカー・種類の電池をそろえましょう。

④ 電池の換えどきは残り1.2Vまで下がったら

1.5Vの乾電池ならその約80% (1.2V) でおもちゃの作動が鈍ります。

⑤ 充電式はおすすめしません

充電式電池は、電圧1.2Vのため、この時点で80%を下回ります。



こまめに電池をチェックして、
使い方を注意すれば、おもちゃの
寿命が大きく変わります。

簡単な電池残量チェッカーの作り方を紹介します



今回のアイデア提供者

た なかよしあき
田中良明さん
日本おもちゃ病院協会のおもちゃドクター。市内では「おもちゃのぐるりん」で活動。大切なおもちゃを診察し、元気になるよう修理している。



あなたの“暮らしのアイデア”を募集します!

皆様のご家庭での“暮らしのアイデア”を募集します。採用された方は、このコーナーでイラストを交えて紹介させていただきます。郵送、FAXまたはEメールにて、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、「暮らしのアイデア係」あてにご応募ください。

郵送 〒180-8777 武蔵野市役所広報課 FAX 0422-55-9009

Eメール sec-kouhou@city.musashino.lg.jp

※採用された方には編集部から連絡をさせていただきます。
ご協力いただいた方の個人情報は、他の目的に利用しません

季刊 むさしの

第97号(2011冬の号)
平成23年12月20日発行

- 取材・コピー/柳澤美帆、山口 剛
- 撮影/中西多恵子、遠藤直次
- デザイン/株式会社タクトデザイン事務所
- 編集・広告/株式会社文化工房
- 企画・発行/武蔵野市
- 印刷/株式会社雄進印刷
- 問い合わせ先 武蔵野市企画政策室広報課
☎0422-60-1804



読者からのお便り

第96号(2011年秋号)より

『季刊むさしの』についてのご意見・ご感想・まちの話題など。

市内に公園、遊歩道があるが、そこに季節の花が咲いている。これを記事として紹介してほしい。

(70代男性)

バス停や街の外の椅子で、必ず人に話しかける。月に一度位素晴らしい人格者に逢えます。

(70代女性 西東京市)

私は中学生で将来のこととかを考え始める歳だから、もう少しそういうことへのヒントになるような記事を載せ

てくれるとうれしいです。

(10代女性 中町)

武蔵境駅はどのように変わりますか...もう少し便利になりますか?教えてください。

(10代男性 関前)

むさしのスタイル、いつも楽しみに拝見しています。イラストが細かい所までかわいく、行ってみたいくなります。

(20代女性 渋谷区)